

問1 インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロの構造から読み取れる、この文明の社会的な特徴として、最も適切な説明はどれか。

(2016年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 都市の中心にジググラトと呼ばれる聖塔を築き、神官が政治を行う神権政治を徹底していた | 2. 王の権力を象徴する巨大な墓としてピラミッドが建設され、死後の世界を重視する宗教観を持っていた | 3. 碁盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた | 4. 周囲を高い城壁で囲んだ都市国家を形成し、外敵の侵入を防ぐことを最優先した軍事的な社会であった |
|--|---|--|---|

問2 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。

(2018年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された | 2. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた | 3. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された | 4. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|

問3 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2017年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。 | 2. 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。 | 3. 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。 | 4. 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。 |
|--|---|---|---|

問4 古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。

(2019年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|---------|
| 1. エジプト文明 | 2. メソポタミア文明 | 3. インダス文明 | 4. 中国文明 |
|-----------|-------------|-----------|---------|

問5 インダス川流域で栄えた古代文明の遺跡について、当時の社会の様子を推察する説明として最も適切なものはどれですか。

(2024年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 城壁に囲まれた都市が点在し、各都市で異なる暦や度量衡が使われていたことから、統一された文化を持たない部族連合体であったことがわかる。 | 2. 計画的に配置された道路や水路、巨大な公衆浴場などの跡から、高度な土木技術と組織的な都市運営が行われていたことがわかる。 | 3. 大規模な王墓や死者の書が発見されていることから、死後の世界を重視し、強力な専制君主による統治が行われていたことがわかる。 | 4. 文字を記した粘土板が大量に発掘されており、その解読結果から、肥沃な三日月地帯において灌漑農業を基盤とした交易が盛んであったことがわかる。 |
|---|--|---|---|

問6 次のア～エに示す歴史的事象について、発生した年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。
ア：渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられた。 イ：聖武天皇の遺品などが正倉院に納められ、天平文化が栄えた。
ウ：足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。 エ：豊臣秀吉による朝鮮侵略の際、連れてこられた陶工により陶芸技術が広まった。

(2025年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 1. イ → ウ → ア → エ | 2. ア → ウ → イ → エ | 3. イ → ア → エ → ウ | 4. ア → イ → ウ → エ |
|------------------|------------------|------------------|------------------|

問7 紀元前16世紀頃に中国の黄河流域で興った、現在確認されている中で中国最古とされる王朝の名前として正しいものを選びなさい。

(2020年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 殷 | 2. 漢 | 3. 隋 | 4. 周 |
|------|------|------|------|

問8 中国の漢の時代に整備された、中国と西アジアや地中海沿岸地域を結ぶ交通路を何と呼びますか。

(2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|----------|-----------|
| 1. 御成道 | 2. 海の道 | 3. 万里の長城 | 4. シルクロード |
|--------|--------|----------|-----------|

問9 エジプト、メソポタミア、インダス、中国の各文明において、共通して見られる文化や制度上の特徴として正しいものはどれですか。

(2025年 山梨県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉄製の農具を普及させることで森林を切り開き、広大な農地を確保するとともに、赤道直下の気候を利用して二期作を行った。 | 2. 厳しい乾燥帯での生活を維持するために遊牧を主とし、部族間の対等な契約を記すために象形文字を発明した。 | 3. 大河の水を農地に引く灌漑農業を行い、余剰生産物を管理する中から文字が生まれ、権力の象徴として神殿や宮殿が造られた。 | 4. 高度な石造技術を用いてすべての都市を碁盤の目状に整備し、文字を使わずに結縄（縄の結び目）による記録制度を確立した。 |
|--|---|--|--|

問10 アフリカ大陸北東部を流れるナイル川の流域で栄えた文明において、使用された文字と発達した暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2023年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------------|----------------|
| 1. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陰暦 | 2. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦 | 3. 楔形文字 — 太陽暦 | 4. 楔形文字 — 60進法 |
|-----------------------|-----------------------|---------------|----------------|

問11 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2018年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 1. メソポタミア文明 — インダス川 — 楔形文字 | 2. 中国文明 — チグリス・ユーフラテス川 — 甲骨文字 | 3. エジプト文明 — ナイル川 — 象形文字（ヒエログリフ） | 4. インダス文明 — 黄河 — インダス文字 |
|----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------|

問12 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。

(2020年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。 | 2. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。 | 3. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。 | 4. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定めた。 |
|--|---|---|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 碁盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた	インダス文明の都市遺跡には、当時の他の文明と比較しても際立って優れた都市計画の跡が見られます。住居跡からはレンガで作られた井戸や排水設備、さらには大規模な浴場などが発見されており、高度な土木技術と公衆衛生に対する意識の高さがうかがえます。このようなインフラの整備は、社会全体が統制された計画的な生活を送っていたことを示唆しています。
問2	答え 1 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問3	答え 2 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問4	答え 1 エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、パピルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問5	答え 2 計画的に配置された道路や水路、巨大な公衆浴場などの跡から、高度な土木技術と組織的な都市運営が行われていたことがわかる。	モヘンジョ・ダロなどのインダス文明の遺跡では、規格化された焼成レンガが使用され、碁盤の目状に区画された道路や、各家庭からつながる排水溝が整備されていました。このような整然とした都市の構造は、共通の規格や高度な測量・土木技術を持つ強力な統治機構が存在したことを示唆しています。
問6	答え 4 ア→イ→ウ→エ	アの渡来人と須恵器は古墳時代、イの正倉院と天平文化は奈良時代、ウの勘合貿易は室町時代、エの朝鮮侵略と陶工は安土桃山時代の出来事です。したがって、年代の古い順に並べるとア（古墳時代）→イ（奈良時代）→ウ（室町時代）→エ（安土桃山時代）となります。
問7	答え 1 殷	中国の文明は大河の流域で発達しました。その中でも黄河流域では紀元前16世紀頃にこの王朝が成立し、青銅器の使用や、神意を問う占いによる政治が行われていました。後に続く周や、広大な帝国を築いた漢、中国を再統一した隋よりも古い時代にあたります。
問8	答え 4 シルクロード	漢の武帝の時代に派遣された張騫の遠征などをきっかけとして、中国の特産品である絹が西方へ運ばれたことから「絹の道」とも呼ばれます。この道を通じて、西方の文化や宗教が中国へ、そして日本へと伝わるきっかけとなりました。
問9	答え 3 大河の水を農地に引く灌漑農業を行い、余剰生産物を管理する中から文字が生まれ、権力の象徴として神殿や宮殿が造られた。	古代文明の多くは、大河の流域で灌漑による農耕や牧畜を基盤として成立しました。生産力が向上して人口が増えると、集団を統率する支配者が現れ、その威信を示すための巨大建築物（神殿・宮殿）が造られました。また、農作物の収穫量や家畜の数を記録するために文字が考案され、文明の発展を支える重要な手段となりました。
問10	答え 2 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦	ナイル川流域のエジプト文明では、川の定期的な氾濫時期を予測する必要から天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦が作られました。また、神殿や墓の壁画などには象形文字（ヒエログリフ）が刻まれました。一方、楔形文字や60進法、太陰暦は、チグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミア文明の特徴です。
問11	答え 3 エジプト文明 — ナイル川 — 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。
問12	答え 1 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。